

小島久弥 展

Critical Point 50⇄0 ボク達はドコから来て、ドコへ行くのだろう

(1) 趣 旨

空想と現実などの相反する概念、水や光が変化する瞬間など様々な現象における”際”を「Critical Point＝臨界点」と呼び、テーマとして発表を続けてきた名古屋市在住の作家・小島久弥（こじま ひさや／1957-）を迎え、展覧会やワークショップを開催しました。展示は企画展示室、美術工芸展示室、そして養蚕民家を復元した生活体験館「まゆの家」の三会場にわたり「まゆの家」では作家が選んだ当館所蔵品等によるインスタレーションを試みました。また、アートボランティアをはじめとする市民参加の関連企画として、9月23日の秋分の日に作家の映像制作を追体験するワークショップを開催しました。



(2) 会 期 2007(平成 19)年 9 月 15 日(土)～10 月 21 日(日)<32 日間>

(3) 観 覧 料 無料

(4) 会 場 企画展示室／美術工芸展示室／生活体験館（まゆの家）

(5) 関連事業

①アートな 1 日講座「小島久弥ワークショップ」

「にしみまど」を巡るように敷いた模型の線路の周りに自然の中で見つけた様々な物を置いてカメラ付の模型列車を走らせ、カメラが捉えた映像を撮影しました。

《2007(平成 19)年 9 月 23 日(日)15：00～18：00／会場：文化の森「にしみまど」付近／参加料：500 円》

②「critical point “ネイロ/snowing”」

小島久弥による映像インスタレーションと江藤苺夏による詩の朗読のパフォーマンスが行われました。

《2007(平成 19)年 10 月 6 日(土)15：00～16：00／会場：企画展示室・美術工芸展示室／参加料：無料》